

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
06302	上下水道台帳整備事務	建設水道課	水道工務係	漆戸 芳樹	唐澤 武志
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 10 日	連絡先(内線)	2167
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分	事業コード	事業名(歳出予算見積書)		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	9101	原水及び浄水費		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5702	公共下水道事業		
	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成		
	節 (コード選択)	1節	町の基盤を整備する		
	項[基本施策] (コード選択)	313	上下道の安定供給		
	主な取り組み (コード選択)	3133	上下水道・小野簡易水道の健全な運営		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度		<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
上下水道、小野簡易水道利用者および公共下水道、特定環境保全公共下水道利用者およびそれらの情報を必要とする人
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
町内に布設されている水道管、下水道管の管路、口径などの必要な情報を台帳整備(地図化)する。
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 町内に布設されている水道管路、下水道管路の台帳整備(地図化)を行う。
2
3
4

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22年度	年度(見込み)
① 指標名	辰野町上下水道および小野簡易水道管路整備延長	Km	171	172	172	1.00	172
① 説明	資産台帳における管路整備延長	目標値設定の根拠	平成21年度現在の管路の資産台帳から				
② 指標名	下水道整備済管路延長	Km	127	127	127	1.00	127
② 説明	事業認可計画内の下水道整備延長	目標値設定の根拠	事業認可計画の下水道管路延長127.23km				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22年度	年度(見込み)
① 指標名	辰野町上下水道、小野簡易水道の管路台帳整備率	%	43	52	52	1.00	52
① 説明	台帳整備済延長/水道資産台帳	目標値設定の根拠	水道本管総延長に対する台帳整備済の割合				
② 指標名	下水道台帳整備率	%	100	100	100	1.00	100
② 説明	台帳整備延長/下水道整備済延長	目標値設定の根拠	整備済延長に対する台帳整備延長の割合				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	2,177	528	5,414	12,813					
対前年比		%		24.2	1026.2	236.6					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			2,177	528	5,414	12,813					
B) 一般財源(税金)											
①事業費		(千円)	1,522	0	4,882	12,300					
対前年比		%		0	#DIV/0!	251.9					
②人件費の概算		(千円)	655	528	532	513					
対前年比		%		80.5	100.9	96.3					
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費		
	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/		
町職員(正規職員)	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.02 0.02 0.02	0.06 0.06 0.06	0.10 0.08 0.08	0.08	655	528	532	513	
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 資産台帳整備 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 給水装置工事審査における情報不足の把握 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

地図情報システムのデモンストレーションを受けるなどして、今後のシステムの方向性検討を開始している。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

水道台帳整備が遅れているので整備を計画的に実施する。また小野簡易水道資産台帳整備に合わせて地図情報システム活用をはかり、今後の上水道、下水道の台帳整備を一括してPCで管理することを目指し整備する。

23年度予算見積書への反映 あり なし

〔反映内容〕
 資産台帳整備、上水道管路台帳整備、公共下水道台帳整備。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

震災対策においても、台帳整備は重要である。資産台帳にリンクできる地図情報システム(電子化)の導入を検討する。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



a 上記 a~e を選択